

付録1 調査票

【自治体調査】

子ども食堂に関するアンケート

はじめに

ご所属の自治体は、下記のどちらでしょうか。(1つに✓点)

- ☐ 1. 都道府県 ☐ 2. 市区町村

【問1】 都道府県・市区町村名をお教えてください。

都道府県() 市区町村()

【問 2】市区町村の場合、属性をお教えてください。(1つに✓点)

- ☐ 1. 政令指定都市 ☐ 2. 中核市 ☐ 3. 一般市(人口規模 20 万人以上)
☐ 4. 一般市(3 以外) ☐ 5. 町村 ☐ 6. 特別区

【問 3】 子ども食堂を所管する部署等がありますか。(1つに✓点) ある場合は、部署名をご記入ください。

- ☐ 1. 担当課室がある（担当課名： ）
- ☐ 2. 担当係がある（担当係名： ）
- ☐ 3. 担当部署はないが子ども食堂に関係する部署は決まっている（部署名： ）
- ☐ 4. 担当部署はなく子ども食堂に関係する部署も決まっていない

問 3 で 1～3 と回答した方

【問 3-1】 担当者の常勤・非常勤、専従・兼務をお答えください。(それぞれ1つに✓点)

- ☐ 1. 常勤 ☐ 2. 非常勤
-
- ☐ 1. 専従 ☐ 2. 兼務

↓ 問3で1と回答した方

【問 3-2】 担当課の分野を教えてください。(1つに✓点)

- ☐ 1. 子育て支援 ☐ 2. ひとり親支援 ☐ 3. 子どもの貧困 ☐ 4. 地域福祉
☐ 5. 教育 ☐ 6. 医療 ☐ 7. 保健 ☐ 8. 市民協働

【問 4】子ども食堂が活用可能な国の支援策のうち、実際に活用されているものをすべてお選びください。(該当すべてに✓点)

- ☐ 1. 子供の未来応援基金
☐ 2. 子供の未来応援交付金
☐ 3. 地方創生推進交付金
☐ 4. ひとり親家庭への子どもの生活・学習支援事業
☐ 5. 生活困窮世帯等への子どもの学習・生活支援事業
☐ 6. 支援対象児童等見守り強化事業
☐ 7. その他(具体的に)

【問 5】子ども食堂への自治体独自の支援はありますか。(該当すべてに✓点) 社会福祉協議会に委託等して、実施しているものを含めていただいてもかまいません。また、支援の開始年度を西暦でお答えください。

自治体独自の支援	実施 (すべてに✓点)	開始年度
1. 開設・運営支援(相談窓口)	☐ ₁	()年
2. 補助金(最大 円)	☐ ₂	()年
3. 会場の提供(利用費減免含む)	☐ ₃	()年
4. 広報支援	☐ ₄	()年
5. 関係団体による協議会の設置	☐ ₅	()年
6. イベント・シンポジウム開催	☐ ₆	()年
7. 管内の子ども食堂のマップ・名簿作成	☐ ₇	()年
8. コーディネーターの委嘱	☐ ₈	()年
9. アドバイザーの派遣	☐ ₉	()年
10. その他(具体的に:)	☐ ₁₀	()年
11. 特になし	☐ ₁₁	

【問 6】管内の子ども食堂の運営・開催の状況を把握していますか。(1つに✓点)

- ☐ 1. 行政からの支援等を受けていないものも含め、管内の子ども食堂について運営・開催の状況を把握している
☐ 2. 行政から支援等を行っている管内の子ども食堂については、運営・開催の状況を把握している
☐ 3. 社会福祉協議会が運営・開催の状況を把握している
☐ 4. 特に運営・開催の状況は把握していない



【問 6-1】問 6 の回答となった背景や経緯をお教えてください。(自由記述)

【問 7】 子ども食堂の案内状況について、お答えください。(1つに✓点)

- ☐ 1. 管内の子ども食堂の地図や開催時間を記載した資料を配布するなど、行政窓口において子ども食堂を積極的に案内している
- ☐ 2. 市民から問われれば行政窓口において子ども食堂を案内することがある
- ☐ 3. 特設行政窓口において子ども食堂を案内することはない



【問 7-1】問 7 の回答となった背景や経緯を教えてください。(自由記述)

【問 8】管内の公立学校において子ども食堂の情報提供(チラシの配布・掲示、特定家庭の子どもに案内など)をしていますか。(1つに✓点)

- ☐ 1. 管内のすべての公立学校において子ども食堂の情報提供をしている
- ☐ 2. 管内の一部の公立学校において子ども食堂の情報提供をしている
- ☐ 3. 保護者から問われれば公立学校において子ども食堂の情報提供をすることがある
- ☐ 4. 公立学校において子ども食堂の情報提供をすることはない

【問 9】管内の子ども食堂との連携状況について、お答えください。(該当すべてに✓点)

- ☐ 1. 定期的に連絡・相談・支援している
- ☐ 2. 自治体の事業やイベントの協力をお願いしている
- ☐ 3. 子ども食堂(設置予定含む)から相談があれば対応している
- ☐ 4. 貧困・虐待・不登校等の気になる子どもについて情報交換をしている
- ☐ 5. 特に対応していない

【問 10】 子ども食堂に期待する役割 として、食事の提供以外に当てはまるものをすべてお選びください。(該当すべてに✓点)	
☐ 1. 食育 ☐ 2. 生活習慣の習得 ☐ 3. 子どもの学習支援 ☐ 4. 子育て支援 ☐ 5. 子どもの見守り支援(虐待防止) ☐ 6. 生活困窮家庭の支援 ☐ 7. ひとり親家庭の支援 ☐ 8. 相談支援 ☐ 9. まちづくり ☐ 10. 防災拠点	☐ 11. 伝統行事の伝承 ☐ 12. 多世代交流 ☐ 13. 居場所・遊び場づくり ☐ 14. 高齢者や障害者等の生きがいづくり ☐ 15. 介護予防 ☐ 16. 大学生等の実習 ☐ 17. 地域の特産物振興 ☐ 18. 食品ロス削減 ☐ 19. その他(具体的に)

【問 11】 子ども食堂からの相談内容 について、当てはまるものをすべてお選びください。(該当すべてに✓点)	
☐ 1. 感染防止対策 ☐ 2. (コロナ禍で休止している場合) 再開の判断基準がわからない ☐ 3. 運営資金の確保 ☐ 4. 食材の確保 ☐ 5. 衛生管理 ☐ 6. 食物アレルギー対応 ☐ 7. 場所の確保 ☐ 8. 器具・設備の確保 ☐ 9. 運営スタッフの確保 ☐ 10. 組織のマネジメント	☐ 11. 周知や広報の協力 ☐ 12. 保険へ加入すべきかわからない ☐ 13. 気になる親子への個別支援 ☐ 14. 参加者のプライバシー保護 ☐ 15. 参加者とのトラブル ☐ 16. 参加者同士のトラブル ☐ 17. 相談窓口がわからない ☐ 18. 地域住民の協力が得られない ☐ 19. 学校・教育委員会の協力が得られない ☐ 20. その他(具体的に) ☐ 21. なし

【問 12】 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、管内の子ども食堂にお願いした対応 があれば、全てお選びください。(該当すべてに✓点)	
☐ 1. 自宅への配食への切替え ☐ 2. フードパントリー・弁当配布への切替え ☐ 3. 食堂での食事と上記 1・2 の併用 ☐ 4. 開催頻度の減少 ☐ 5. 時間制限による入れ替え制 ☐ 6. 参加人数の制限	☐ 7. 野外での実施 ☐ 8. 開催の休止 ☐ 9. 公民館での飲食禁止 ☐ 10. 手指の消毒等の感染防止対策を実施した上で通常通り開催 ☐ 11. その他(具体的に) ☐ 12. 特になし

【問 13】新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、新たに実施した子ども食堂への独自の支援はありますか。（該当すべてに✓点）

- | |
|---|
| ☐ 1. 運営支援(相談窓口)
☐ 2. 補助金 (最大 円)
☐ 3. 感染防止対策の周知
☐ 4. その他(具体的に)
☐ 5. 特になし |
|---|

【問 14】新型コロナウイルス感染症拡大により、学校が休校となり学校給食が中止となった時期がありましたが、市区町村として実施した食支援はありますか。（該当すべてに✓点）

※食支援団体とは子ども食堂、こども宅食、フードパントリー、弁当配付などを指します。

- ☐ 1. 給食設備を活用した支援
 - ☐ 2. 給食食材を活用した支援
 - ☐ 3. 子どもの食支援団体※への食材支援
 - ☐ 4. 子どもの食支援団体※への広報協力
 - ☐ 5. 支援対象児童のいる家庭へ食支援団体※の案内
 - ☐ 6. その他（具体的に
 - ☐ 7. 特になし

【問 15】新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学校等の休業や外出自粛が継続する中で、子どもの見守り機会が減少し、児童虐待リスクが高まっているとの指摘もありますが、市区町村として実施した見守り支援はありますか。（該当すべてに✓点）

- ☐ 1. 相談窓口の開設
 - ☐ 2. 支援対象児童等見守り支援事業の実施
 - ☐ 3. 食支援団体(子ども食堂、こども宅食、フードパントリー、弁当配付など)への支援
 - ☐ 4. その他(具体的に)
 - ☐ 5. 特になし

【問 16】 本調査へのご回答(自治体の情報を含む)を、厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課ならびに NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえへ提供してもよろしいですか？今後の子ども食堂の活動に係る情報提供等に活用させていただきます。(1つに✓点)

- ☐ 1. 提供してもよい ☐ 2. 提供したくない

【問 17】その他、お伝えになりたいことがございましたら、自由にご記載ください。

質問は以上です。ご回答いただき、ありがとうございました。

【子ども食堂調査】

子ども食堂の活動に関するアンケート

はじめに

本調査の依頼 は、下記のどちらから受け取りましたか。(該当すべてに✓点)	
☐ 1. 自治体	☐ 2. 子ども食堂の地域ネットワーク団体

【問 1】 貴団体の運営主体 についてお答えください。(1つに✓点)	
☐ 1. 任意団体(市民活動) ☐ 2. 任意団体(自治会、町内会等) ☐ 3. 個人 ☐ 4. NPO 法人 ☐ 5. 社団法人 ☐ 6. 社会福祉法人 ☐ 7. 学校法人 ☐ 8. 医療法人	☐ 9. 宗教法人 ☐ 10. 農業協同組合 ☐ 11. 生活協同組合 ☐ 12. 企業 ☐ 13. 地方公共団体(委託含む) ☐ 14. 社会福祉協議会(委託含む) ☐ 15. その他(具体的に)

【問 2】 運営に当たって使用している建物の提供主体と管理主体 について、お答えください(それぞれ1つに✓点)。		
	提供主体 (1つに✓点)	管理主体 (1つに✓点)
1. 任意団体(市民活動)	☐ ₁	☐ ₁
2. 任意団体(自治会、町内会等)	☐ ₂	☐ ₂
3. 個人(賃貸マンション・アパートを含む)	☐ ₃	☐ ₃
4. NPO 法人	☐ ₄	☐ ₄
5. 社団法人	☐ ₅	☐ ₅
6. 社会福祉法人	☐ ₆	☐ ₆
7. 学校法人	☐ ₇	☐ ₇
8. 医療法人	☐ ₈	☐ ₈
9. 宗教法人	☐ ₉	☐ ₉
10. 農業協同組合	☐ ₁₀	☐ ₁₀
11. 生活協同組合	☐ ₁₁	☐ ₁₁
12. 企業	☐ ₁₂	☐ ₁₂
13. 地方公共団体	☐ ₁₃	☐ ₁₃
14. 社会福祉協議会	☐ ₁₄	☐ ₁₄
15. 建物は活動に使っていない(野外で実施)	☐ ₁₅	☐ ₁₅
16. その他	☐ ₁₆	☐ ₁₆

【問 3】貴団体では、子ども食堂以外に、 <u>どういった分野での活動</u> をされていますか。(該当すべてに✓点) ※子ども食堂のみの場合は、「10.子ども食堂のみ」をお選びください。	
☐ 1. まちづくり ☐ 2. 教育関係 ☐ 3. 子育て支援関係 ☐ 4. 高齢者支援関係 ☐ 5. 障害者支援関係	☐ 6. 飲食店関係 ☐ 7. 農林・水産・畜産業関係 ☐ 8. その他の食支援(こども宅食、フードパントリーなど) ☐ 9. その他(具体的に) ☐ 10. 子ども食堂のみ

1. 活動内容について

問 4～7 は、新型コロナウイルス感染症拡大前(2020 年3月以前)の活動内容をお答えください。

【問 4】 <u>開催頻度</u> はどのくらいですか。(1つに✓点)	
☐ 1. ほぼ毎日(週5～7回程度) ☐ 2. 週3～4回程度 ☐ 3. 週1～2回程度 ☐ 4. 2週間に1回程度	☐ 5. 月1回程度 ☐ 6. 数か月に1回程度 ☐ 7. 季節限定(長期休暇中のみなど) ☐ 8. 不定期

【問 5】活動する <u>曜日・時間帯</u> をすべてお選びください。(該当すべてに✓点)	
☐ 1. 平日(朝) ☐ 2. 平日(昼) ☐ 3. 平日(夜)	☐ 4. 土日祝日(朝) ☐ 5. 土日祝日(昼) ☐ 6. 土日祝日(夜)

【問 6】1回当たりの <u>参加費</u> についてご回答ください。(それぞれ1つに✓点)有料の場合、金額をご記入ください。※例えば、小学生と中学生が同じ金額でもそれぞれお答えください。		
対象区分	無料	有料
1. 未就学児	☐ ₁	☐ ₂ ⇒ ()円
2. 小学生	☐ ₁	☐ ₂ ⇒ ()円
3. 中学生	☐ ₁	☐ ₂ ⇒ ()円
4. 高校生	☐ ₁	☐ ₂ ⇒ ()円
5. 大人(高齢者は除く)	☐ ₁	☐ ₂ ⇒ ()円
6. 高齢者	☐ ₁	☐ ₂ ⇒ ()円
7. その他(具体的に) ※福祉サービス利用者等の優遇枠を設けている場合	☐ ₁	☐ ₂ ⇒ ()円

【問 7】 食事の提供方法をすべてお選びください。(該当すべてに✓点)

- ☐ 1. 食堂内で配食 ☐ 2. バイキング形式 ☐ 3. お弁当の配布
☐ 4. その他(具体的に)

2. 参加者について

問 8～10 は、新型コロナウイルス感染症拡大前(2020 年3月以前)の参加者についてお答えください。

【問 8】 1回当たりの参加人数は、平均してどの程度ですか？子ども(17歳以下)と大人(18歳以上)でそれぞれお答えください。(それぞれ1つに✓点)

人数	子ども(17歳以下)	大人(18歳以上)
1. 4人以下	☐ ₁	☐ ₁
2. 5～9人	☐ ₂	☐ ₂
3. 10～14人	☐ ₃	☐ ₃
4. 15～19人	☐ ₄	☐ ₄
5. 20～49人	☐ ₅	☐ ₅
6. 50～99人	☐ ₆	☐ ₆
7. 100人以上	☐ ₇	☐ ₇

【問 9】 貴団体として参加者に条件を付していますか？(1つに✓点)

- ☐ 1. 参加者について条件を付していない
☐ 2. 参加者に条件を付している → 【問 9-1】へお進みください。

↓

【問 9-1】 どのような条件を付していますか？(該当すべてに✓点)

- ☐ 1. 大人のみの参加不可
☐ 2. 高齢者
☐ 3. 生活困窮家庭(生活保護・非課税世帯など)
☐ 4. ひとり親家庭(児童扶養手当受給世帯など)
☐ 5. 障害者
☐ 6. ひきこもり・不登校
☐ 7. 外国籍
☐ 8. その他(具体的に)

【問 10】 <u>参加者の属性</u> を、把握している範囲内ですべてお選びください。(該当すべてに✓点)	
☐ 1. 未就学児 ☐ 2. 小学生 ☐ 3. 中学生 ☐ 4. 高校生 ☐ 5. 大学生・専修学校生 ☐ 6. 大人(高齢者は除く) ☐ 7. 高齢者	☐ 8. 生活困窮家庭(生活保護・非課税世帯など) ☐ 9. ひとり親家庭(児童扶養手当受給世帯など) ☐ 10. 障害者 ☐ 11. ひきこもり・不登校 ☐ 12. 外国籍 ☐ 13. その他(具体的に)

3. 運営スタッフについて

問 11～14 は、新型コロナウイルス感染症拡大前(2020 年3月以前)の運営スタッフについてお答えください。なお、運営スタッフにはボランティアを含みます。

【問 11】1回当たりの <u>運営スタッフの人数</u> は、平均してどの程度ですか？(1つに✓点)		
☐ 1. 4人以下	☐ 2. 5～9人	☐ 3. 10～14人
☐ 4. 15～19人	☐ 5. 20人以上	

【問 12】運営スタッフにはどのような <u>年齢層</u> の方がいますか。(該当すべてに✓点)		
☐ 1. 17歳以下	☐ 5. 40～49歳	☐ 9. 70～79歳
☐ 2. 18～19歳	☐ 6. 50～59歳	☐ 10. 80～89歳
☐ 3. 20～29歳	☐ 7. 60～64歳	☐ 11. 90歳以上
☐ 4. 30～39歳	☐ 8. 65～69歳	

【問 13】運営スタッフはどのような <u>勤務形態</u> で活動されていますか。(該当すべてに✓点)※例えば、本業では常勤職員でも子ども食堂の活動はボランティアであれば、「ボランティア」をお選びください。			
☐ 1. 常勤職員	☐ 2. 非常勤職員	☐ 3. 有償ボランティア	☐ 4. 無償ボランティア

【問 14】運営スタッフが <u>保有している資格等</u> をすべてお選びください。(該当すべてに✓点) ※ない場合は、「16. なし」をお選びください。		
☐ 1. 調理師 ☐ 2. 管理栄養士・栄養士 ☐ 3. 食品衛生責任者 ☐ 4. 保健師 ☐ 5. 教員	☐ 6. 保育士 ☐ 7. 社会福祉士 ☐ 8. 精神保健福祉士 ☐ 9. 臨床心理士 ☐ 10. 公認心理師	☐ 11. 作業療法士 ☐ 12. 医師 ☐ 13. 看護師 ☐ 14. 民生委員・児童委員 ☐ 15. その他(具体的に) ☐ 16. なし

4. 運営について

問 15～18 は、新型コロナウイルス感染症拡大前(2020 年3月以前)の運営についてお答えください。

【問 15】 年間の運営費 はおよそどのくらいですか。(1 つに✓ 点) ※活動期間が1年未満の場合は、1年間に換算した金額をお選びください。	
☐ 1. 10万円未満	☐ 2. 10万～30万円未満
☐ 3. 30万～50万円未満	☐ 4. 50万円以上

【問 16】 運営費 はどのように確保されていますか？(該当すべてに✓ 点)	
☐ 1. 公的な補助金	☐ 5. クラウドファンディング等の活用
☐ 2. 民間の助成金	☐ 6. ふるさと納税の活用
☐ 3. 会費	☐ 7. 自己資金(持ち出し)
☐ 4. 寄付	☐ 8. その他(具体的に)

【問 17】 保健所への許可・届出 の状況をお答えください。(1 つに✓ 点)	
☐ 1. 営業許可を得ている	☐ 4. その他 (具体的に)
☐ 2. 届出を行っている	☐ 5. 相談していない
☐ 3. 相談したが許可・届出が不要とされた	

【問 18】 食物アレルギー にどのように対応されていますか。(該当すべてに✓ 点)	
☐ 1. 参加者の緊急連絡先を把握している	
☐ 2. 食物アレルギーを持つ参加者に対し、アレルゲン食品を除いた別メニューを提供している	
☐ 3. 食物アレルギーに対応していない旨をチラシ等で明記している	
☐ 4. 献立に使用している代表的なアレルゲン食品を明記して注意を促している	
☐ 5. あらかじめ代表的なアレルゲン食品を除いたメニューを全員に提供している	
☐ 6. 特に何もしていない	
☐ 7. その他 (具体的に)	

5. 連携・支援について

問 19～21 は、新型コロナウイルス感染症拡大前(2020 年3月以前)の連携・支援についてお答えください。

【問 19】 子ども食堂同士で連携 をされていますか。(該当すべてに✓ 点)	
☐ 1. 全国規模の連絡組織に参加している	☐ 5. 個別に交流しているが、連絡組織には参加していない
☐ 2. 都道府県の連絡組織に参加している	☐ 6. 他との交流はない
☐ 3. 市区町村の連絡組織に参加している	
☐ 4. その他の連絡組織に参加している	

【問 20】食材の寄付や広報などで連携している団体はありますか。(該当すべてに✓点)		
☐ 1. 任意団体 (市民活動) ☐ 2. 任意団体 (自治会、町内会等) ☐ 3. 個人(農家) ☐ 4. 個人(農家以外) ☐ 5. NPO 法人 ☐ 6. 社団法人 ☐ 7. 社会福祉法人	☐ 8. 医療法人 ☐ 9. 宗教法人 ☐ 10. 農業協同組合 ☐ 11. 生活協同組合 ☐ 12. 企業 ☐ 13. 地方公共団体 (委託含む) ☐ 14. 社会福祉協議会 (委託含む)	☐ 15. 保育所・幼稚園 ☐ 16. 小中学校・高校 ☐ 17. 大学・専修学校 ☐ 18. フードバンク ☐ 19. クラウドファンディング ☐ 20. その他 (具体的に)

【問 21】次の助成等の中で活用されているものはありますか。(該当すべてに✓点)
☐ 1. 子供の未来応援基金 ☐ 2. ひとり親家庭への子どもの生活・学習支援事業 ☐ 3. 生活困窮世帯等への子どもの学習・生活支援事業 ☐ 4. 自治体による独自の補助 ☐ 5. 民間団体による補助 ☐ 6. その他(具体的に) ☐ 7. 活用していない

6. 子ども食堂の役割について

問 22、23 は、新型コロナウイルス感染症拡大前(2020 年3月以前)の状況についてお答えください。

【問 22】 貴団体が子ども食堂の役割として、食事提供以外に意識しているものはありますか。(該当すべてに✓点)	
☐ 1. 食育 ☐ 2. 生活習慣の習得 ☐ 3. 子どもの学習支援 ☐ 4. 子育て支援 ☐ 5. 子どもの見守り支援(虐待防止) ☐ 6. 生活困窮家庭の支援 ☐ 7. ひとり親家庭の支援 ☐ 8. 相談支援 ☐ 9. まちづくり ☐ 10. 防災拠点	☐ 11. 伝統行事の伝承 ☐ 12. 多世代交流 ☐ 13. 居場所・遊び場づくり ☐ 14. 高齢者や障害者等の生きがいづくり ☐ 15. 介護予防 ☐ 16. 大学生等の実習 ☐ 17. 地域の特産物振興 ☐ 18. 食品ロス削減 ☐ 19. その他(具体的に)

【問 23】参加者の様子を見て、他の支援機関につなげた経験はありますか。(1つに✓点)

- ☐ 1. つなげたことがある → 【問 23-1】へお進みください。
☐ 2. つなげたことはない → 【問 23-2】へお進みください。

【問 23-1】次のどの支援機関につなげましたか。(該当すべてに✓点)

- ☐ 1. 行政 ☐ 2. 学校 ☐ 3. 医療機関 ☐ 4. 民間支援機関
☐ 5. 民生委員・児童委員 ☐ 6. その他(具体的に)

【問 23-2】支援機関につなげることがないのはなぜですか。(該当すべてに✓点)

- ☐ 1. 支援が必要と思われる参加者がいればつなげるが、該当者がいなかった
☐ 2. 支援が必要と思われる参加者はいたが、どこにつなげて良いか分からなかった
☐ 3. 支援の必要性があるかどうかを特に把握していなかった
☐ 4. その他(具体的に)

7. コロナ禍における対応状況について

問 24 は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、学校が休業したり、緊急事態宣言が出されたりした、2020 年3～5月頃の状況についてお答えください。

【問 24】新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、子ども食堂の活動は継続されましたか。3～5月頃の対応についてお答えください。(1つに✓点)

- ☐ 1. 感染拡大前と同様の活動を継続した
☐ 2. 感染拡大前と同様の活動について、頻度や人数を減らして継続した
☐ 3. 感染拡大前と異なる方法での活動を実施した
☐ 4. 活動を休止した



【問 24-1】(問 25 で 2・3・4 と回答した方)活動頻度や人数を減らしたり、異なる方法での実施としたり、活動を休止したりした理由は何ですか。(該当すべてに✓点)

- ☐ 1. 感染リスクが不安であったから
☐ 2. 活動場所が閉鎖され活動できなくなったから
☐ 3. 運営スタッフを集めることができなくなったから
☐ 4. 休校や外出自粛により困っている子どもや家庭を支援したかったから
☐ 5. その他(具体的に)



【問 24-2】（問 25 で 1・2・3 と回答した方）**新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施した対応**をすべてお選びください。（該当すべてに✓点）

- | | |
|--|--|
| ☐ 1. 自宅への配食への切替え | ☐ 6. 参加人数の制限 |
| ☐ 2. フードパントリー・弁当配布への切替え | ☐ 7. 野外での実施 |
| ☐ 3. 食堂での食事と上記 1・2 の併用 | ☐ 8. 手指の消毒等の感染防止対策を実施した上で通常通り開催 |
| ☐ 4. 開催頻度の減少 | ☐ 9. その他（具体的に |
| ☐ 5. 時間制限による入れ替え制 | ） |

問 25 は、新型コロナウイルス感染症が拡大している、調査時点（2020 年 12 月頃）の状況についてお答えください。

【問 25】 **調査時点において、子ども食堂の活動は実施していますか。**（1つに✓点）

- ☐ 1. 感染拡大前と同様の活動を実施している
- ☐ 2. 感染拡大前と同様の活動について、頻度や人数を減らして実施している
- ☐ 3. 感染拡大前と異なる方法での活動を実施している
- ☐ 4. 活動を休止している（再開予定時期が決まっている）
- ☐ 5. 活動を休止している（再開予定時期は決まっていない）
- ☐ 6. 活動を辞めた



【問 25-1】（問 25 で 2・3・4・5 と回答した方）活動頻度や人数を減らしたり、異なる方法での実施としたり、活動を休止したりしている**理由**は何ですか。（該当すべてに✓点）

- ☐ 1. 感染リスクが不安であるから
- ☐ 2. 活動場所が閉鎖され活動できなくなっているから
- ☐ 3. 運営スタッフを集めることができなくなっているから
- ☐ 4. 休校や外出自粛により困っている子どもや家庭を支援したいから
- ☐ 5. その他（具体的に

）



【問 25-2】（問 25 で 1・2・3 と回答した方）**新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施している対応**をすべてお選びください。（該当すべてに✓点）

- | | |
|--|--|
| ☐ 1. 自宅への配食への切替え | ☐ 6. 参加人数の制限 |
| ☐ 2. フードパントリー・弁当配布への切替え | ☐ 7. 野外での実施 |
| ☐ 3. 食堂での食事と上記 1・2 の併用 | ☐ 8. 手指の消毒等の感染防止対策を実施した上で通常通り開催 |
| ☐ 4. 開催頻度の減少 | ☐ 9. その他（具体的に |
| ☐ 5. 時間制限による入れ替え制 | ） |

【問 26】 **新型コロナウイルス感染症拡大(2020 年3月めど)の前後における変化として、当てはまるものはありますか。(該当すべてに✓点)※変化がない場合は「11.変化なし」をお選びください。**

- | | |
|---|--|
| ☐ 1. 行政との連携が深まった
☐ 2. 地域との連携が深まった
☐ 3. 補助・食材提供の減少
☐ 4. 補助・食材提供の増加
☐ 5. 参加者の減少
☐ 6. 運営スタッフの減少 | ☐ 7. 廃棄食材の発生
☐ 8. 運営費が確保できなくなった
☐ 9. 場所が確保できなくなった
☐ 10. その他(具体的に)
☐ 11. 変化なし |
|---|--|

【問 27】 **新型コロナウイルス感染症拡大を受けて行われている助成等について、次の中で活用しているものはありますか。(該当すべてに✓点)※問 21 でお答えいただいたもの以外に、新型コロナウイルスの感染拡大後に新たに活用をしているものをお選びください。**

- | |
|--|
| ☐ 1. 子供の未来応援基金
☐ 2. 地方創生推進交付金
☐ 3. ひとり親家庭への子どもの生活・学習支援事業
☐ 4. 生活困窮世帯等への子どもの学習・生活支援事業
☐ 5. 赤い羽根共同募金
☐ 6. 自治体による補助
☐ 7. 民間団体による助成金
☐ 10. その他(具体的に)
☐ 11. いずれも活用していない →【問 27-1】へお進みください |
|--|



【問 27-1】活用していない理由をお書きください。(自由記述)

--

【問 28】新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、国等において、子ども食堂の支援に資する様々な取り組みを実施しています。(1)ご存じのものや、(2)実際に活用されたものについて、以下からすべてお選びください。(該当すべてに✓点)

取り組み	知っている	活用した
①感染拡大防止に当たっての留意点や活用可能な施策等が記載された厚生労働省の事務連絡	☐ ₁	☐ ₁
②子どもの見守りを行う子ども食堂等への補助(第2次補正予算案における支援対象児童等見守り強化事業)	☐ ₂	☐ ₂
③感染防止に配慮した好事例集(厚生労働省ホームページで公表)	☐ ₃	☐ ₃
④子ども食堂に対する政府備蓄米の無償交付(農林水産省)	☐ ₄	☐ ₄
⑤フードバンクと協力した未利用食品の活用(農林水産省)	☐ ₅	☐ ₅
⑥食育推進事業(農林水産省)	☐ ₆	☐ ₆
⑦新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け在庫の滞留等が生じている品目の購入補助	☐ ₇	☐ ₇
⑧新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用(内閣府)	☐ ₈	☐ ₈
⑨休眠預金等活用制度における新型コロナウイルス対応緊急支援助成	☐ ₉	☐ ₉
⑩子供の未来応援基金による緊急支援事業	☐ ₁₀	☐ ₁₀
⑪赤い羽根共同募金による支援	☐ ₁₁	☐ ₁₁
⑫その他(具体的に)	☐ ₁₂	☐ ₁₂

【問 29】新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえ、次にあげる行政による支援を希望しますか。(該当すべてに✓点)

☐ 1. 開設に当たってのガイドブック ☐ 2. 運営費(食材費、人件費等)確保のための補助 ☐ 3. 運営に当たっての相談窓口 ☐ 4. コーディネーターの委嘱	☐ 5. アドバイザーの派遣 ☐ 6. 行政窓口からの子ども食堂の紹介 ☐ 7. 学校との連携 ☐ 8. その他(具体的に) ☐ 9. 必要ない →【問 29-1】へお進みください
--	--



【問 29-1】必要がないと答えた理由をお書きください。(自由記述)

7. まとめ

【問 30】運営に当たり困っていることはありますか。(該当すべてに✓点)

- | | |
|---|---|
| ☐ 1. 感染防止対策
☐ 2. (コロナ禍で休止している場合)
再開の判断基準がわからない
☐ 3. 運営資金の確保
☐ 4. 食材の確保
☐ 5. 衛生管理
☐ 6. 食物アレルギー対応
☐ 7. 場所の確保
☐ 8. 器具・設備の確保
☐ 9. 運営スタッフの確保
☐ 10. 組織のマネジメント
☐ 11. 周知や広報 | ☐ 12. 保険へ加入すべきかわからない
☐ 13. 気になる親子への個別支援
☐ 14. 参加者のプライバシー保護
☐ 15. 参加者とのトラブル
☐ 16. 参加者同士のトラブル
☐ 17. 相談窓口がわからない
☐ 18. 地域住民の協力が得られない
☐ 19. 学校・教育委員会の協力が得られない
☐ 20. 行政の協力が得られない
☐ 21. その他(具体的に)
☐ 22. なし |
|---|---|

【問 31】本調査へのご回答(団体の情報を含む)を、厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課ならびにNPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえへ提供してもよろしいですか？今後の子ども食堂の活動に係る情報提供等に活用させていただきます。(1つに✓点)

- ☐ 1. 提供してもよい
 ☐ 2. 提供したくない

【問 32】その他、お伝えになりたいことがございましたら、自由にご記載ください。

【問 33】調査にご協力いただきましてありがとうございます。よろしければ謝礼をご送付させていただこうと考えておりますが、謝礼の送付は希望されますでしょうか。(1つに✓点)

- ☐ 1. 希望する
 ☐ 2. 希望しない

8. 団体の概要について

【問 34】 貴団体の概要についてご記入ください。	
子ども食堂の名称 (個人の場合はお名前)	
回答者の氏名・役職	氏名: 役職:
活動地域(自治体名)	都道府県: 市区町村: 小学校区:
子ども食堂の開始年	年
連絡先住所	〒
電話番号	
メールアドレス	@
ウェブサイト URL (あれば)	

※謝礼の送付を希望される方は、子ども食堂の名称、回答者の氏名、活動地域(都道府県、市区町村)、子ども食堂の開始年、連絡先住所、電話番号、メールアドレスを必ずご記入ください。

謝礼の送付を希望されない方は、子ども食堂の名称、活動地域(都道府県、市区町村)、子ども食堂の開始年、連絡先住所(都道府県)、メールアドレスを必ずご記入ください。

※本調査において、調査集計と謝礼の送付以外の目的で使用することはありません。

※ご回答内容について確認させていただきたいことがある場合、記載いただいたご連絡先まで問い合わせる場合がありますのでご承知おきください。

質問は以上です。ご回答いただき、ありがとうございました。